

設 立 趣 旨 書

特定非営利活動法人しまもとバンブークラブ

島本町が平成18年3月に策定した「生涯学習推進計画」の施策の中に「総合型地域スポーツクラブ」の設立・育成が掲げられており、「しまもとバンブークラブ」が平成19年2月に設立されました。「しまもとバンブークラブ」は総合型地域スポーツクラブとして、設立当初より「温かい人づくり、まちづくり、ふるさとづくり」をスローガンに、将来を担う子ども達が心身ともに元気できちんと自分の居場所を持ちいつも素直な笑顔を見せるまちづくり、年長者の方が生きがいを持ちここに住んでよかったと思えるまちづくり、親子のふれあいや世代を越えた交流を通じて人と人の温かいつながりができるまちづくり、いわゆるコミュニティづくりを目指し、地域の皆さんにスポーツや文化活動を楽しんでいただくことを通してこれらを実現させていこうと活動してきました。

さて、7年が経過して利用会員数も増え、活動場所が他団体との共有のため使用頻度や時間が制限される中、教室数も25種目35教室となり、広く町内外へ向けてのイベント事業も行ってきました。利用会員の方々から様々なご意見をいただき、目的であるコミュニティづくりに関してある程度の成果が得られていると実感しております。

しかし、その反面、組織にいくつかの課題が生じてきたことも強く感じるようになりました。まず、組織が大きくなってきたことによって代表者の負担も大きくなってきたことです。次に設立当初よりクラブの根幹となる運営体制をボランティア精神ですすめたことで、人材不足となり、当初からの運営スタッフに負担がかかり疲弊感が生じている状態が続いていることです。そんなことから、他団体他機関との連携の可能性があるだろうにも関わらず、一步を踏み出せない現状です。また、コミュニティづくりの一環として「井戸端会議」の場でもありたいと考えていましたが、温かいまちづくりにつながっていくコミュニケーションの場としての「クラブハウス」もまだ実現できておりません。加えて、継続性の問題です。わたしたち「しまもとバンブークラブ」のスローガンである「温かい人づくり、まちづくり、ふるさとづくり」を実現するためには次世代へ継続していくことが必須課題です。子ども達に温かいふるさとを創っていくことは、世代間で受け継がれてこそ成果がみえてくるものだと考えます。

そこで、わたしたち「しまもとバンブークラブ」は、特定非営利活動法人格を取得し、まず、代表者の負担を軽減し組織として活動すること、社会的に責任ある団体として自立することによってスタッフには活動しやすい組織環境を呈示し次世代のスタッフを集めやすくすること、行政を含め様々な他団体他機関との連携も視野にいれ利用者にはより魅力ある様々なメニューを提供すること、機能の充実したクラブハウスを持つこと、を実現させたいと考えます。そして、次世代へ継続可能な団体として末永く活動していきたいと思っております。